

1、産交バスグループの乗務員不足の状況

乗務員不足については、熊本県内の事業者含め、業界全体において深刻な課題となっており、産交バスにおいても乗務員不足及び乗務員の高齢化が加速し、これまで不採算路線の減便や高速バスの供給量縮小による要員数削減、また、並行して採用活動も積極的に進めているものの定員数に達するまでの抜本的な改善には至っておらず、非常に厳しい事業運営が続いております。

□乗務員過不足状況

※令和6年1月末時点

	定員数	在籍数	過不足数
九州産交バス	326	313	▲13
産交バス	313	301	▲12
グループ全体	639	614	▲25

□木山営業所の乗務員過不足状況（九州産交からの出向者含む）

※令和6年1月末時点

	定員数	在籍数	過不足数
九州産交バス	59	58	▲1
産交バス	10	9	▲1
グループ全体	69	67	▲2

※産交バスの在籍数は6名、対して定員数は10名のため、九州産交バスより3名出向受け入れを行い、何とか運営が出来ている状況。（出向受け入れを行っても▲1名）

これまで、乗務員の休日出勤また、他営業所からの助勤等により何とか路線維持に努めて参りましたが、今後の退職者や新規採用の状況を考慮すると、現在の運行便数を維持出来ない状況に陥ると判断し、以下のとおり路線の廃止を進めたいと考えております。

2、バス路線の廃止

廃止路線名：広安循環線（木山産交～馬水団地～広安西小学校～木山産交）
 運行便数：平日 15便 土曜 15便 日祝 15便
 系統キロ：11.1 k m
 実施期日：令和6年4月1日予定

3、利用人員及び収支状況

人員

	平日		土曜		日祝	
	便平均	日平均	便平均	日平均	便平均	日平均
木山～惣領～広安西小～木山	0.8人	5.6人	0.6人	4.2人	0.4人	2.5人
木山～広安西小～惣領～木山	0.7人	5.4人	0.4人	3.5人	0.2人	1.8人

収支

年度	系統番号	系統名	キロ程	平均運行回数	実車走行キロ	輸送人員	平均乗車密度	輸送量	経常収益(千円)	経常費用(千円)	経常収支(千円)	収支率
R5	H164-04	木山・広安循環線	12.9	14.8	40,673.7	2,167	0.1	1.4	589	12,681	▲12,092	4.6%
	H164-05	木山・広安循環線(R5.5～)	11.1	15	25,474.5	1,206	0.1	1.5	356	7,942	▲7,586	4.5%
R4	H164-04	木山・広安循環線	12.9	14.9	69,892.2	3,773	0.1	1.4	1,596	21,186	▲19,590	7.5%
R3	H164-04	木山・広安循環線	12.9	14.9	70,356.6	4,906	0.1	1.4	1,197	20,193	▲18,996	5.9%
R2	H164-01	マ/団地線（益城役場線）	8.2	8.9	44,591.6	8,702	0.6	5.3	2,121	12,389	▲10,268	17.1%
	H164-02	マ/団地線（広安循環線）	19.7	13.5	81,183.7	7,991	0.6	8.1	2,901	22,555	▲19,654	12.9%
	H164-03											
	H164-04	木山・広安循環線	12.9	14.9	11,584.2	1,095	0.2	2.7	248	3,218	▲2,970	7.7%

4、効果

人員不足を解消することにより、休日出勤等の改善効果から、日々の安全運行を確保する。
 ※広安循環線線を廃止することにより、乗務員要員数 3名を削減予定

5、スケジュール

令和5年								令和6年度			
5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
益城町様申入れ				協議・調整			地域公共交通	通会議実施			実施
									支局届出		